

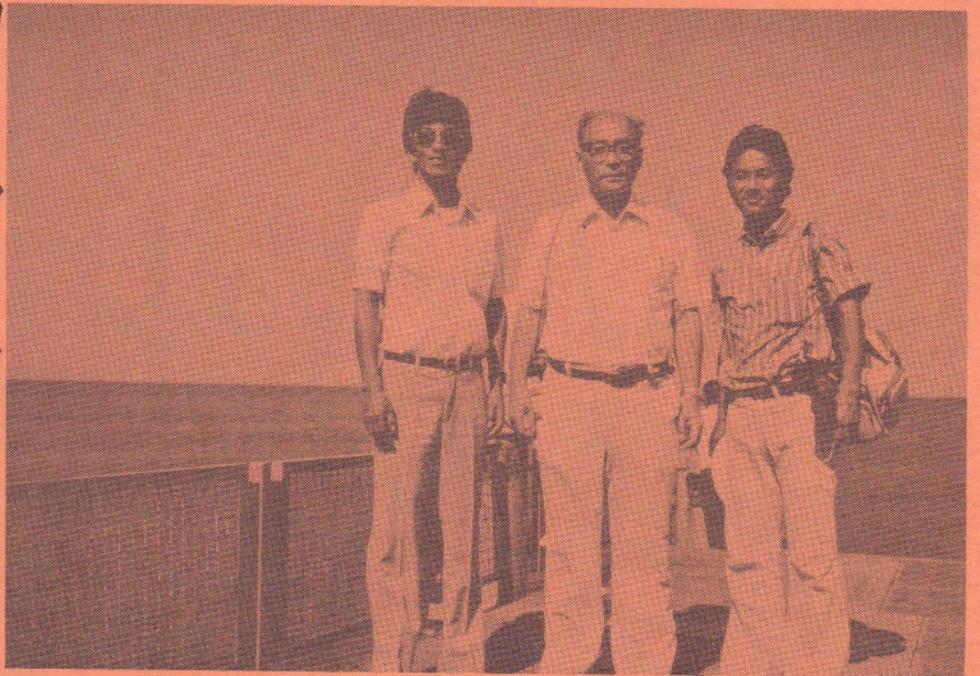
＝日本GAP山形支部報＝

# ユニバーサル メモリアル



～SEA OF GALILEE～

NO. 13



テベリア—船着き場にて  
左よりサイドの榊原氏, 久保田会長, 齊藤康美氏(大阪)

ユニバーサルメッセージ第18号... (目次) ...

❁ 私の感心事 .....	漆山晃治 .....	1p
❁ 本来の自分に返ろう .....	高橋由一 .....	2~3p
❁ 現代の迷信 .....	本山恒明 .....	4~5p
❁ 私とGAPの出会い そして思う事 .....	加藤寿栄子 .....	6~8p
❁ Congratulations! (柴田弘和氏の結婚式報告特集) .....		8~9p
❁ 愛は地球を救う .....	山崎泰照 .....	10~12p
・おたより紹介 .....		13~15p
・編集後記 .....		15p

最近のニューズレターや各地  
 支部発行の支部報を見ても  
 いまは、教壇前とは各段に内  
 容が豊富になつてきているよ  
 うに思われます。それだけ南  
 学を理解して、体験している人  
 が増えてきているのではないでし  
 うか。

私の今の感心事は、職場であ  
 り家庭です。こういうと、エコ  
 ノミック・アニマルの一員であ  
 ると思われ、かもしれないが、  
 これを抜きにして、他の物  
 事に集中できないのです。一般  
 の人々と同様の生活を送って  
 るのです。内容的にまだ不  
 足な事がありまして、今後の  
 位の期間がかかるか、かりませ  
 んが、生活の基礎づくりの為  
 に、張って行つて、それが出来  
 始め、本来的のやりたい事に取  
 組んで行きたいと思つていま  
 います。

そこにはカルマも関係してい  
 るように思われます。ある人は小  
 さい時から非凡な才能を發揮し  
 て、それを人生にうまく利用し  
 て生きていく人もいます。人間

# 私の感心事

木山 晃 記

けげ、いざ内容的に充実した  
 日々を迎えることが出来ると確  
 信しています。

今、行なつていふことは、朝  
 起きてから、今日も又、素晴らしい  
 生命力を創造し、主より与えら  
 れた事に感謝し、充実した一日  
 を送れます。感謝し、心の映画  
 法により、感情を込めて歓喜に

の精神レベル・才能は前生から  
 の持ち感しでもあり、何回も生  
 まれ変わつて体験を通して成長  
 して行くものだから、今生だ  
 けに原因を見い出すことはでき  
 ない場合もありませう。

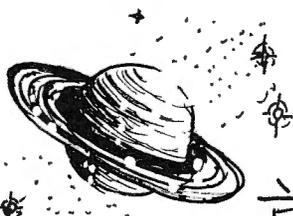
カルマを交えられ、という事  
 を和は一度、体験をした事が行  
 りますので、忍耐強く学んで行

満ちた表情で家庭や職場でも楽  
 しく生活している光景を描く。  
 宇宙的内容を本と読み、習慣的  
 想念の修正をする等でありませう。  
 宇宙的な生き方はどういふもの  
 の内、かと思つて見ますと自分  
 の内に多くの習慣的想念がある  
 ことが判かります。一、人生で  
 成功するには、人一倍額に汗し  
 て働らなくてはならない。  
 二、不平不満があるとならば環  
 境や外的事象に責任を転化しよ  
 うとする。

三、積極的に行動する事は勇気  
 がいる事であり、恐れ心に傳ら  
 れて消極的姿勢にとどまる。  
 四、その他にも多々あります。宇  
 宙的發展を阻害していると思  
 います。

いかなる問題もその人自身で  
 あつ、その人の想念に原因があ  
 るといふのは事実でありまして、  
 耳の痛い話ですが、前に上げ  
 た要因を一つづつ宇宙的に交え  
 ながる歩んで行くならば必ず歡  
 喜に満ちた生活を送ることがで  
 きるものと思つていきます。

# 本来の自分に返えろ



高橋 由一

す、かり御無沙汰しておしま  
して、大変失礼しております。  
私は家庭の事情で今の仕事に  
変わってからは、今更の皆様の  
宇宙的フイリニグに満ちあふ  
れた月例会などから遠ざかって  
しまいい改めて次元の高い人と  
行合う事は大切さを知りまし  
今この社会は人間を管理した  
いろいなる事を要求し、支配者  
の利益追求に都合の良い人間に  
作られ、そして競争させられて  
います。  
その中で耐えられず、強  
トレスなどから肉体や精神を害  
する人、あやまちを犯す人、脱  
落者の印を押されて逃げ出す人  
と、人間が人間らしく生きる事  
が出来なくなっている人間に否  
の社会的な想念を起させていま  
宇宙的自由な想念を起させていま  
す。  
それが争いや戦争を起し、  
異常な競争や戦争を起し、  
力と力、人種を破壊し、かわ  
せるとは、人種を破壊し、かわ  
の社会は複雑な人間は何の過  
いまして、人間は何の過ぎに存

し、生きていくのかを素  
直な気持ちになつて考えるなら  
すでに過去の偉大な指導者が言  
つていたように、自分のマイン  
ドを研ぎ、宇宙の意識(神)に近  
づくことだ、という事が理解で  
きるはずだ、と思ひます。  
どうして今さら私がこうい  
ことを書いたのかと申しますと  
今の自分がこのように申すとい  
き込まれようとして、いるのに  
が、付いたから、本来的の自分  
に返り、自分らしく生きて行け  
ました。

## UFOの目撃

次に、UFOの目撃について  
書かされた、UFOの目撃につ  
き、それは、七九年三月九日  
で、山間部に入所、五、五、  
小高部山に見え、北西に、  
鳥海山が見え、北西に、  
て、その時間、空も晴く、  
その時間、空も晴く、



午後六時半ころ、天気は良  
 かったのだが、その時期特有  
 の濃い悪い時どした。星は見  
 えず月がぼんやりと見えるとい  
 状態でした。私と父が小屋の中  
 でその仕事を終え、外へ出た父  
 が「ピカピカ光る物が外へ出た父  
 とるぞ」と叫びました。私はすぐ  
 とは飛行機でうと思つて父は又  
 早く出まて見ると、呼びました。

私は、はつとしてあわて、外に  
 出た。西北の空を見た。遠く  
 の山の方から、うわうわした光  
 点滅し、なごらふ心づいた。感  
 近づく。五、十、二十、三十、  
 高さ、手前、百メートル位で止  
 たり。今度は石へ移動し始めま  
 った。明るさは一等星の三倍位  
 だった。振り返ります。心づい  
 った。返り、願います。心づい  
 つた。返り、願います。心づい  
 と送り、願います。心づい  
 真赤な強烈な光を三回ほど放  
 ち、北へ北へ西の方角に点滅し  
 らぬ。時間は去つてしまつた。そ  
 の時、私はわづか一分前後だ  
 とおもいます。小型円盤を使つて  
 ゆがみ、自分たちの存在をわ  
 と知らせ、他に目撃者がいるの  
 ようか。他に目撃者がいるので  
 話を聞いて見なさい。親戚の人  
 ぞ、その後も遠くの空を、ふわ  
 ふわ



わと点滅し、なごらふ光を何度  
 か見ました。が、つきりしたも  
 の。か、あ、いま、かん、つきり  
 の。し、か、あ、いま、かん、つきり  
 信の前、こ、あ、いま、かん、つきり  
 信の前、こ、あ、いま、かん、つきり

Dead Sea





# 私とGAPの出会い そして思う事



〜加藤寿栄子〜

本来、気が小さく、回りの影  
響を受けやすかった私は、少  
の中傷にもすぐ傷つき、もうこ  
の世の終りのようにも思える程  
ガツクリと落ち込んでしまいま  
した。  
十代の頃は、それでもまだ若  
さというバイタリティーで、立  
ち通る事も出来たのですが、二  
十才を二つ、三つ過ぎますと立  
ち通るまで時間がかかるよう  
になり、果てはノイローゼ的な  
る程、人間というものが怖いと  
思うようになってしまったのです。  
今思うと、もしかしたらとう  
う不安や何かが起こりそうなど  
という私自身の想念が、そうい  
う事を引き入れた時に、同じ思  
います。そんな時、同じ職場に  
勤めるGAP会員の柴田さんに  
会ったのです。意外と人見知り  
のすゝ方だった私が、何の抵抗  
もなく、彼女になじむ事が出来た  
のは、彼女の誰でも暖かく包み  
込む人柄と、生き生きと輝いて  
いる姿に引きつけられたのかも  
しれません。そして、人に話せば

バカにされるような話でも真剣  
に話す事が出来たせいかもしれ  
ません。そこで、彼女を通して  
始めて日本GAPの宇宙哲学な  
るものに出会ったのです。  
人間の転生という事は、いろ  
いろな本の受け取りで何となく  
自分の気持ちの中で理解してい  
たつもりでした。だから、「死  
ついでに」には、何の恐怖も覚  
えませんでした。ただ、バク然  
と、理想は理想として、実践出来ず、  
現実と仲々かみ合いませんでした。  
それが、宇宙哲学を知る事に  
なりました。今までの、何の気にも  
なかり、小さな事にも楽しさと  
感謝の気持ちを持てるようにな  
りました。もちろんこのように  
ささいな事にも喜びを感じられ  
るようになったのは、柴田さん  
の教えのおかげだと思っ  
て、自分の気持ちに納得がいきま  
せん。その柴田さんに、月例会に出  
てみませんか？というさそい

を受け、以前から公の方々の素  
晴らしさはうかがって居りまし  
たので、是非、皆様とお会いし  
たいと思つていたので。所が、  
それが、その日が近くなるにつ  
れて、もう、宇宙哲学を長く学  
んでこられた方達の中にぼん  
と入つて、自分の気持ちの未熟  
さが目立つのではないだろうか  
とか、私のために皆様には異感  
を感じさせてしまふのでは、と  
いう不安が出て来たのです。  
けれど、その不安も、月例会  
会場に入ったとたん、一パんに  
消えてしまいました。皆様方の  
家族的な暖さに、初めて来た事  
をすっかり忘れてしまふ程な  
んだ。皆自分を感じていたので  
す。皆村オ一人一人のお話しが  
一つ一つ私には考えさせられる  
事ばかりで心の洗たくをしたよ  
うな気持ちでした。そして、  
中でもヤモヤしていたものが、  
吹きとんで、何故かすがすがし  
い気分になつていたので。強  
い来月も是非又来て見たいの  
願望でした。そして、二度、

三度参加させて致だいて宇宙哲  
学を学び、以前から自分の中に  
あった悩みが徐々に良い方へと  
向かつていくのが目に見えて分  
かりました。"人生というものは  
素晴らしい"とつくづく思ひ  
ます。こんなにも素晴らしい方達  
自分と同時代に、同じ地球にい  
らっしゃると思うと感謝せず  
はいられせん。これからは、いかにして全  
ての事に宇宙哲学を實踐させてい  
くかへの課題だと思ひます。  
一生かかつても自分の中にある  
さまざまの累贅を消して行かな  
ければと思ひます。最後に、笑ひ話  
しと申すべし宇宙哲学の応用の例を一つ述  
べたいと思ひます。11月初めの日曜日、月例会  
の帰り、私と柴田さんは、月  
時半頃新庄に着き、夕食を済ま  
せてから帰ろうという事に意見  
が一致し、さう、それではここ  
にしようかという事になしまし  
た。最終的に、店の名があげら  
れ、

店に決まりました。それまでは  
早く中に入り、食べてしまふよ  
うな事でも、ウキウキと歩いて  
いたのです。ところが、自動ド  
アが開いて、一歩足を踏み入れ  
た瞬間、私の中でなんともい  
えない感じがした。それでは、  
中に入りたくな、それでいつも  
起こりました。その中で、  
中にどんだん進んでいくのに、  
その日はドアのそばで、ウインド  
ウの中をのぞきながら、なんと  
なく入りたくないけれど、どうせ  
食べるなら天ぷら定食が食べた  
いなどと思つて、何だか  
私の本當の意識が迷つて、  
識がわからなくなつた。柴田  
さんに切り出された時、ああ、  
フミチマンも同じ意識が働いた  
のか。と、思ひました。ズバリ  
直中でした。それで、  
すぐその店を出て別の店に入  
たのですが、そのお店の中は、  
私達の貸切りのように、ここ  
たのごさす。そして、ここぞ  
ら定食を食べたのです。何よ  
りもうれしかつたのは、エビ天  
の何と大きかつた事。その上、  
ん兵どは一屋しかつた。い



# 愛は地球を救う

山崎泰昭

又しく御無沙汰して誠に申し訳ありません。ユニバーサルメッセージを送つて載さ有難く感じています。お礼の手紙もすっかり遅れてしまい申し訳ありません。あ、そうそう、遅ればせながら、ご結婚おめでとうございませう。普遍なる方の祝福がありますように。

ところで最近はず宇宙人問題にもっと愛を注ぎなさい」という印象が時々浮かんでくるので

いえ、ば、こころは、身のまわりの日常的な地球的事に、以前はいたように感じます。の教えや宇宙開発等について、本を読んだり、調べたり、どうやって実行し身につけるかということをして、或る朝歩いた三年前の事ですが、痛みが始り、左足の裏がズキンと痛みに歩いて歩くのもやると、たまたまその頃一

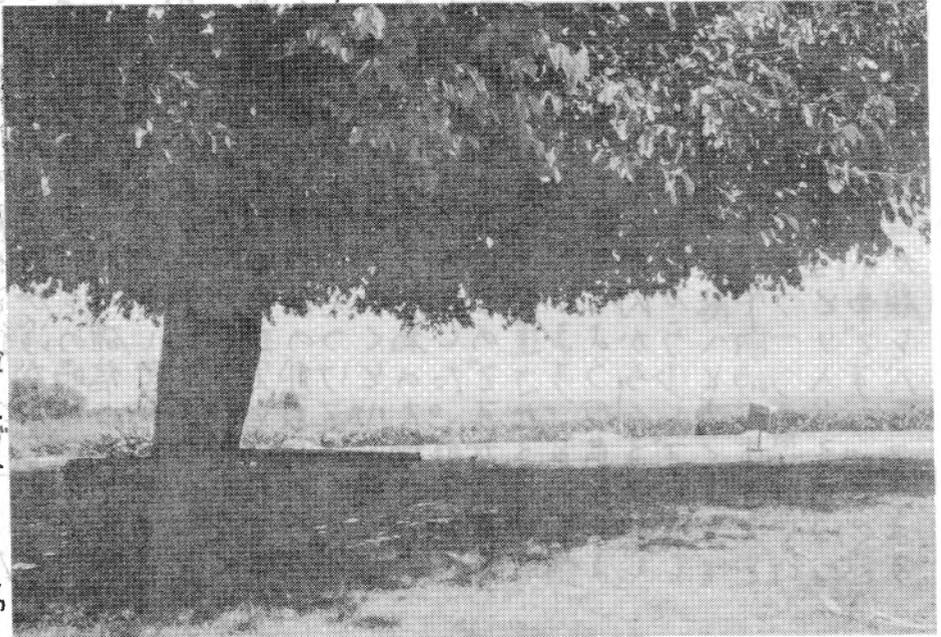
す。それと同時にニユースレター4064の記事、突然ワインのはいったカップが現われ、て、私に次のように言うの、お母様に飲ませてあげなさい。ブライズはあなたに至福を与えようとしています。あなたにブルグイズ問題をまじめに考えて、その方に愛を注いでいるから、さうも浮かんできて、さう

人、担当で長期の出張を前にして非常な忙しさを、人に任せられ、思い、困った事、足がうを、見ても、傷はない、何ん、心当りも、なく、奇妙に思、い、が、ら、も、が、ま、ん、し、て、い、ま、し、た、ま、た、痛、み、を、感、じ、た、り、し、て、い、ま、し、た。

て、結、局、一、週、間、位、で、す、つ、か、り、治、つ、た、よ、う、な、思、い、な、か、ら、ち、当、し、の、よ、う、な、思、い、な、か、ら、ち、当、し、る、と、傷、が、ち、よ、つ、と、ど、き、て、ウ、ミ、の、な、か、つ、た、と、こ、ろ、に、寝、る、前、に、す、こ、し、か、ゆ、み、が、あ、つ、た、の、で、見、て、み、る、と、傷、が、ち、よ、つ、と、ど、き、て、ウ、ミ、の、な、か、つ、た、と、こ、ろ、に、寝、る、前、に、す、

また、それから半年以上たつてからですが、UFOをよく見ていたのが、友達に「この頃、寮の玄関の近くまできて、ふと空を見上げるとUFOをよく見まん、さっきは五、六機編隊を組んで飛んでいたよ」と言うので、UFOに興味をもっている一人が、翌日、「今日一諸にUFOを見ませんか」というので一諸に外に出て見上げてみると、黒っぽい大きな新聞紙を広げたようなものに向こうの空からゆっくりに飛んで来ました。二人してあれはなんだろう、魔界のじやうたんか？と冗談を言いながら見ていると、そのうち近くの45階建アパートの上空を飛んでいきました。その時アパートの大きさなどとは比べると非常に大きなものといふかり二人して驚いてしまいました。(あとでUFOの閃の閃の多真を見て、よく似ていふと思ひました)

か来ていたような気がすると言  
いかけた時、非常に明るい流れ  
星が頂度指さしたその場所から  
現われたのが、目の錯覚ではな



いはっきりわかりました。黙  
つていと友達も気づいていて  
すごくびっくりしてました。  
また数ヶ月後、年の暮れ実家  
に帰って数人で飲みに出た帰り  
にまたま星の話をうらうら問題  
になり、話しているうちに、こ  
人はまじめに考えてくれている  
んだ。そのうち、その人が「こ  
んなすてきな星空は久しぶりだ  
ね。流れ星でも現れないかなあ  
と言った、少しして僕の家の前  
まできたので別れようとした時  
前の方の空に、非常に明るい流  
星が大きな弧を描きました。こ  
の時も黙っていたのですが、そ  
の人も気づいて、非常に感激し  
ていました。

また、いったんたか、夜遅く  
まで残業して、心身ともすっか  
りクタクタになつて帰った時、  
玄関前で空を見上げてみると、  
流れ星を何個か見たのです。か  
見上げていくうち、愛は地球を  
救うッという印象がわいてきま  
す。ついでに全然知らなかつたの  
ですが、翌日24時間チャリテイ

かありありましたし、そして、始  
 めは、前年の24時間チャリテイ  
 番組を少し思い出して、そのうち  
 その言葉の意味を深く考えはじ  
 めていきました。すると少しして  
 突然全身が充電されたようにな  
 り、心身とも疲れがすっかりとれ  
 力がみなぎるようになって、びつ  
 くりしました。今日一日中非常  
 に忙しかつたし、先程まであんな  
 なに疲れていたのに今は、目覚  
 めた時のように元気がうらつと  
 している不思議なものだなあと  
 思いました。

他にもいろいろあったのです  
 が、アダムスキー問題やスペー  
 スブーゲーについて一生懸命の  
 時は何かと奇妙な経験をすると  
 うです。いい意味で。

さて、この頃、何かを探そう  
 とした。宇宙哲学の解こうとする  
 とき、宇宙哲学の謎の「あな  
 たの知覚力を信ずる事を学ばな  
 くなえ」という印象が強く浮かん  
 でくるので、探す前、心を静め  
 て「やたらあつちこちさがすこ  
 とはやめてし浮かんでくる印象  
 を待つようにするのです。もし

て浮かんできた印象に従って探  
 してみるのです。それで、その  
 印象があたつていなかつたら、  
 また心を静めて待つのです。た  
 くさんの印象が浮かんでくる事  
 もあります。その時はどれが当  
 っているか、確信のもてる印  
 象はどれか、そして他はどのよ  
 うな印象かを覚えるようにして  
 から探したのです。それをして  
 リ返ししながら現実と一致する  
 印象と、その他の印象とのろが  
 いを少しづつ見つけていくので  
 す。そうしていくと心を騒がな  
 いとか内なる調和の大切さがよ  
 くわかってきました。昨年から  
 時々強く感じるのですが、意識  
 的な知覚力を発達させる事が非  
 常に大切だと思います。それも何  
 か緊急を要するようない感じが  
 する。直感とか内からくる「感じ  
 を大切にしなければならぬ」と  
 ずつ確信の状態で進んでいくに  
 していきまう。宇宙的な生き方を  
 日常生活で一つ一つの思いや行  
 ないや言葉にとり入れるのはな  
 かなか難しい事ですね。すぐ習  
 慣れとかエゴが顔をだしてきま



から。それでも忍耐強く、ここ  
 にも少しあそこにも少しづつと  
 直感的にとり入れていくことに  
 よって理解も深まり、意識的に  
 適切な応用の仕方がある。僕もまだた  
 ると思えます。僕もまだた  
 び。この頃いろいろ反省させ  
 られる事が多くて物事の見方が  
 だいぶ変わってききました。より  
 力強く頑張りましょう。



郡山市 遠藤 茂

前略、はじめはお便りさせて頂  
きます。

まづ、何はさておき、山形支  
部級であるユニバーサルメッセ  
ージNo.十六、十七号をお送り頂  
き誠に有難うございました。  
実際これを受取って読んでみ  
て本当に人にはわからない程感  
激いたしました。というのには実  
は私一九七七年つまり今から六  
年程前にGAPに入会させて頂  
いたのですが、久保田会長から  
ニューズレターと哲学の解説講  
義録者テープ以外で他の会員の  
方から郵便物を頂いたのははじ  
めだったからです。  
私は十年程前に自分の不注意  
から交通事故で首の骨を折リ、  
いわゆる背筋損傷となり、手足  
が全く動かなくなりました。  
そしてますます悪い苦痛と絶望  
の日々がはじまったのです。  
やがて少しづつ自分のフイリ  
ングが変化しはじめていること  
に気づきました。今ならそのフ

イーリングが内部の意識からく  
る宇宙的な衝動だということか  
はつきりわかるのですが、当時  
アタムスキー哲学など全く知ら  
ない自分にと、てすぐにその意  
味がわかる筈もありませんでし  
た。

しかし、今迄関心のあった物  
事、つまり自分の目や耳が執着  
していた表面の物に心り過さ  
れなくなリ、次第に物事をより  
深く考えるようになった。  
ベッドに釘づけになつていたの  
です。から自分が今までやれたこ  
とや、やつてきたことを未練が  
ましくいくくら考えてもうにも  
ならないこととはわかつていたの  
でしよう。しかしそれがよかつ  
たのです。  
それまではあまり気にも止め  
なかつた。H.R.にすぎくひかれ  
るやうになり、遂にアタムスキ  
ー哲学というものが、いものに  
ぬぐり逢えたのですから……。  
前あきが長くなりました。か  
ういうわけからGAP会員の誰と  
も個人的是には逢つて話した  
電話で話したり、手紙をやりと

リしたことは今迄全くありませ  
ん。何もしないし、又、身近か  
くはGAP会員の一人も居な  
ったからです。  
ニューズレターを目を皿の様  
にして見ても福島県の人、特に  
郡山市の人の名前などがけら  
見つけることができませんでし  
た。

そして他の都道府県ではあれ  
程活発に活動し支部までできて  
なつていふのには福島県は一体ど  
うなつてしまつたのかと一人ど  
うたりもしました。「会員が自分  
以外に誰も居ないんじやないか  
いやそんなバカなはないと……。  
今思えば積極さがなかつただけ  
で手紙を書こうと思つていただけ  
でも書けたのです。勿論代筆で  
す。……。」というわけです。  
母の代筆ですが、若し福島県、  
願いがあつたらう。若し福島県、  
特に郡山に知つていふ会員の方  
があれだけ教へて頂きたいので  
会も大成が裏に終り、そして会  
員の方々は又一步前進して



2000年前ほどの石段が残っていた。(エルサレム鶏鳴教会)

ごしよう。私もこの哲学の実践をこれに機により積極的にやろうと全身で感じております。今後の御指導をよろしくお願い致します。

ば馴れない手紙で何か勝手なことをまだ書きたいこと、山程あるのですがまづはお礼まで。この辺で失礼させて頂きます。草々

### GAP山形支部 月例研究会

■毎月第一日曜日 PM 1:00-5:00

■山形福祉文化センター

■毎回、東米月例研究会に代わり、久保田会長による「中宙からの訪問者」解説講義テーマを公開し、なごやかで雰囲気の中で研究発表や座談会、セミナー練習や遠視の訓練等を行っております。ぜひ御参加下さい。

※テキストとして「中宙からの訪問者」をご持参下さい。

※一月の月例研究会は8日に変更予定です。

★1984年6/24

仙台・山形合同支部大会

(仙台市)

決定。

## 編集後記

●明けましておめでと〜うございませう。今年も希望あふれた一年となりましょう。向上をめざしてがんばりましょう。

●ようやく18号が発刊となり、予定よりかなり遅れてしまいました。不定期刊ながら、これから少し期間を縮めて山形支部とバリの意見を皆さんに伝えし、この支部版を皆さんと交流の場として広げてゆきたいと思っております。

●山形支部の柴田文子さんと、神奈川支部の千田光明氏と御結婚されました。共に山形県新屋中ご生活されます。ということも千田さんが山形の地でGAP活動に参加されます。彼の山形支部参加でさらに大きく前進してゆくこととしましょう。

●エルサレム中宙まうらぶの旅に(編者)参加してまいりましたが、改めて自分の足で現地へ行きたいエスのアイリッシュを感じることなどの重要性を知りました。なにしろながたいおまの体験は来世に持ち越せる唯一のものであります。その中で高貴なものと細小る体験は貴重に感じます。(清水)

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ18号

編集発行人 清水 正

発行所 日本GAP山形支部

992 山形県米沢市中田町9-12 東宮中田アパート

TEL 0239(37)5635 14127

1984 1/1 発行 頒価100円 送料170円